

2021年度

金沢学院大学

学生の学修状況・学修成果等の検証

報告書

補足資料

## アドミッションポリシーの評価【補】

### 基礎学力確認テストの入試区分別の成績比較

学内共通の基礎学力確認テストの成績について、2科目とも受験した新入生のみを対象として、学部をすべて込みにして入試区分別に分類し、それぞれの区分ごとの成績比較をおこなった。

受験者の入試区分ごとの集計数は、表1に示したとおりである。2科目を受験した入学者の総合計は852名であった。なお、入試区分Cと入試区分Hの区分で入学した受験者は、いずれも5名未満であり、平均点や標準偏差を用いた他の入試区分との比較は妥当ではないと考えられる。したがって、以下の分析では、図表には掲載してあるが特に言及していない。

英語・数学・2科目の合計点について、入試区分ごとに平均点、標準偏差、最高点・最低点、得点率を算出した。また、区分ごとの平均点を個人の得点と見なして、偏差値に換算した。また、大学全体の成績に基づいて四分位数を求め、受験者を上位・中上位・中下位・下位に区分して、それぞれの人数比率を算出した。

表1 入試区分ごとの受験者数一覧

入試区分	人数
入試区分 A	85
入試区分 B	190
入試区分 C	2
入試区分 D	137
入試区分 E	26
入試区分 F	28
入試区分 G	33
入試区分 H	3
入試区分 I	45
入試区分 J	222
入試区分 K	81
合計	852

※一部の区分には奨学生選抜、スカラシップ入試を含む

## ○英語の分析

### 素点に基づく分析

英語は 35 点満点である。入試区分ごとの結果をまとめたものを、表 2 および図 1 に示した。大学の平均点は 19.1 点 ( $SD=6.59$ ) で、昨年度比 $-0.5$  点であった。入試区分別に見ると最も平均点が高いのは入試区分 K の 26.2 点 ( $SD=4.87$ ) で、昨年度比 $+0.6$  点であった。次いで入試区分 J (22.8 点,  $SD=5.07$ , 昨年度比 $-1.4$  点), 入試区分 G (20.2 点,  $SD=4.74$ , 同 $-1.1$  点) と続く。最も平均点が低かったのは入試区分 E の 14.1 点 ( $SD=4.04$ ) で、昨年度比 $+2.6$  点であった。平均点, 最高点・最低点, いずれを見ても, 入試区分 J と入試区分 K の区分の成績が高く, 入試区分 A, 入試区分 B, 入試区分 E, 入試区分 F で低い。各入試区分の平均点を偏差値に直すと, 50 を超える (平均点を超える) のは入試区分 G, 入試区分 J, 入試区分 K の 3 区分である。一方, 入試区分 B, 入試区分 E は 45 を下回っている。

### 成績階層の分析

受験者の成績から 25 パーセンタイル点, 50 パーセンタイル点, 75 パーセンタイル点を算出し, この数値を基に各入試区分の入学者を成績の階層ごとに分類した (表 3)。成績階層は, 上位が 35-24 点, 中上位が 23-19 点, 中下位が 18-14 点, 下位が 13-0 点である。同点が多数いるため, 階層ごとの得点の幅および人数が均等になっていないことに注意されたい。分類した結果を, 表 3 に示した。この表は, 各入試区分内での上位から下位までの分布を示しているため, 横方向の合計が 100% である。

入試区分 J と入試区分 K では, 上位から中上位に 80% 以上が入る。その他の区分では, 上位から中上位までが過半数を超えるのは入試区分 G のみ (受験者の少ない入試区分 C を除く) で, 入試区分 B, 入試区分 E においては下位に 50% 以上が該当する。

### 評価

以上の傾向から, 英語の学力については, 入試区分 J, 入試区分 K で入学した受験者と, 入試区分 A, 入試区分 B, 入試区分 E, 入試区分 F の受験者の間に, やや大きな差が見られると言える。

表2 英語の入試区分別成績一覧

入試区分	人数	平均	昨年度比	SD	最高	最低	偏差値
入試区分 A	85	17.5	+1.9	6.10	29	4	47.63
入試区分 B	190	14.4	-1.0	5.72	34	3	42.89
入試区分 C	2	16.5	-2.5	2.50	19	14	46.10
入試区分 D	137	18.4	+0.7	5.47	33	6	48.97
入試区分 E	26	14.1	+2.6	4.04	25	8	42.48
入試区分 F	28	17.8	-1.3	5.06	26	9	48.00
入試区分 G	33	20.2	-1.1	4.74	32	11	51.69
入試区分 H	3	16.0	-7.2	2.94	19	12	45.34
入試区分 I	45	15.9	-0.7	4.91	31	8	45.18
入試区分 J	222	22.8	-1.4	5.07	33	7	55.61
入試区分 K	81	26.2	+0.6	4.87	35	13	60.90
全体	852	19.1	-0.5	6.59	35	3	

※「昨年度比」の欄の赤字は、昨年度比で0.5点以上下がった区分。  
「最高」「最低」の色つきのセルは、それぞれの得点を記録した区分。

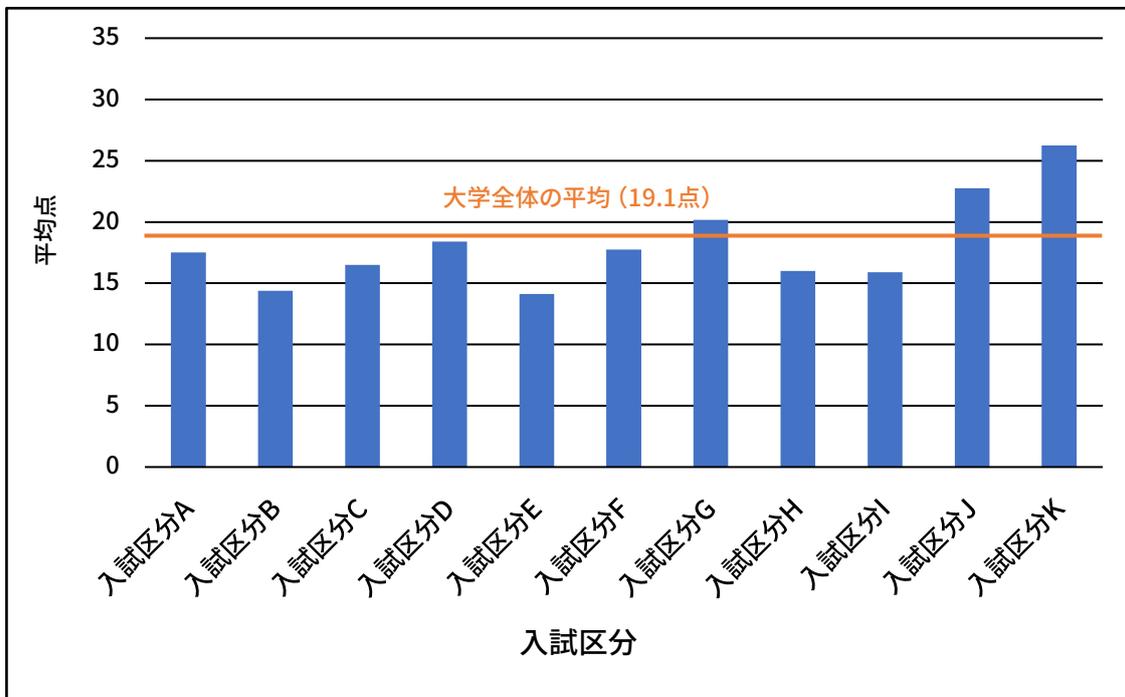


図1 英語の入試区分別平均点

表 3 各入試区分における英語の得点の上位～下位の成績階層の比率(%)

入試区分	人数	上位	中上位	中下位	下位	合計
入試区分 A	85	22.4	21.2	32.9	23.5	100.0
入試区分 B	190	8.9	14.7	23.2	53.2	100.0
入試区分 C	2	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
入試区分 D	137	13.9	36.5	29.2	20.4	100.0
入試区分 E	26	3.8	7.7	34.6	53.8	100.0
入試区分 F	28	17.9	32.1	25.0	25.0	100.0
入試区分 G	33	18.2	45.5	24.2	12.1	100.0
入試区分 H	3	0.0	33.3	33.3	33.3	100.0
入試区分 I	45	4.4	24.4	35.6	35.6	100.0
入試区分 J	222	48.2	32.0	14.0	5.9	100.0
入試区分 K	81	70.4	23.5	4.9	1.2	100.0

上位：35-24点，中上位：23-19点，中下位：18-14点，下位：13-0点

※色つきのセルは，その入試区分で最も比率の高い階層である。

(人数の少ない入試区分 C，入試区分 H を除く)

## ○数学の分析

### 素点に基づく分析

数学は30点満点である。入試区分ごとの結果をまとめたものを、表4および図2に示した。大学の平均点は22.7点 ( $SD=4.34$ ) で、昨年度と同じであった。入試区分別に見ると最も平均点が高いのは入試区分Kの25.8点 ( $SD=2.78$ ) で、昨年度比+0.1点であった。次いで入試区分J (24.7点,  $SD=3.46$ , 昨年度比-0.1点), 入試区分G (23.5点,  $SD=4.25$ , 同-0.5点) と続く。入試区分J, 入試区分Kともに標準偏差も昨年度とあまり変わらず、同じ学力層であると言える。最も平均点が低かったのは入試区分Eの19.8点 ( $SD=4.30$ ) で、昨年度比+1.0点であったが、標準偏差が昨年度より1.3拡大している。平均点, 最高点・最低点, いずれを見ても, 入試区分J, 入試区分Kの成績が高く, 入試区分B, 入試区分E, 入試区分Fの成績が低くなっている。各入試区分の平均点を偏差値に直すと, 入試区分G, 入試区分J, 入試区分Kの3区分で50を超える(平均点を超える)が, 入試区分Bと入試区分Eの区分で45を下回っている。全体に標準偏差が英語に比べて小さく, 成績のばらつきは英語よりも小さいことがわかる。

### 成績階層の分析

受験者の成績から25パーセンタイル点, 50パーセンタイル点, 75パーセンタイル点を算出し, この数値を基に各入試区分の入学者を成績の階層ごとに分類した(表5)。成績階層は, 上位が30-26点, 中上位が25-24点, 中下位が23-20点, 下位が19-0点である。同点が多数いるため, 階層ごとの得点の幅および人数が均等になっていないことに注意されたい。分類した結果を, 表5に示した。この表は, 各入試区分内での上位から下位までの分布を示しているため, 横方向の合計が100%である。

入試区分Jおよび入試区分Kでは, 上位から中上位に70%以上が入る。その他の区分では, 入試区分Gの区分で上位から中上位までの合計が60%を超える。その他に過半数を超える区分はなく, 入試区分Eにおいては下位に50%以上が該当する。入試区分Dや入試区分Iは, 中下位から下位にかけてボリュームゾーンとなっている。全体的に見て, 入試区分Jおよび入試区分Kにおいては英語よりも階層間の人数比率の差が顕著であるが, その他の区分では英語に近い人数比率になっている。

### 評価

以上の傾向から, 数学の学力については, 入試区分Jおよび入試区分Kで入学してきた受験者と, 入試区分A, 入試区分B, 入試区分E, 入試区分Fの受験者の間に, やや差があると言える。ただし, 英語に比べてその差は小さく, 学力の格差はやや小さくなっている。

表 4 数学の得点の入試区分別成績一覧

入試区分	人数	平均	昨年度比	SD	最高	最低	偏差値
入試区分 A	85	22.2	+2.4	4.04	28	10	48.85
入試区分 B	190	20.2	-1.0	4.44	30	8	44.09
入試区分 C	2	19.0	-6.0	7.00	26	12	41.37
入試区分 D	137	22.7	+0.8	3.91	29	11	49.88
入試区分 E	26	19.8	+1.0	4.30	28	10	43.23
入試区分 F	28	21.3	-0.8	3.53	29	13	46.64
入試区分 G	33	23.5	-0.5	4.25	28	8	51.70
入試区分 H	3	21.0	-2.4	0.82	22	20	45.98
入試区分 I	45	21.8	-0.2	4.03	30	14	47.82
入試区分 J	222	24.7	-0.1	3.46	30	13	54.56
入試区分 K	81	25.8	+0.1	2.78	30	18	56.99
全体	852	22.7	0.0	4.34	30	8	

※「昨年度比」の欄の赤字は、昨年度比で 0.5 点以上下がった区分。  
「最高」「最低」の色つきのセルは、それぞれの得点を記録した区分。

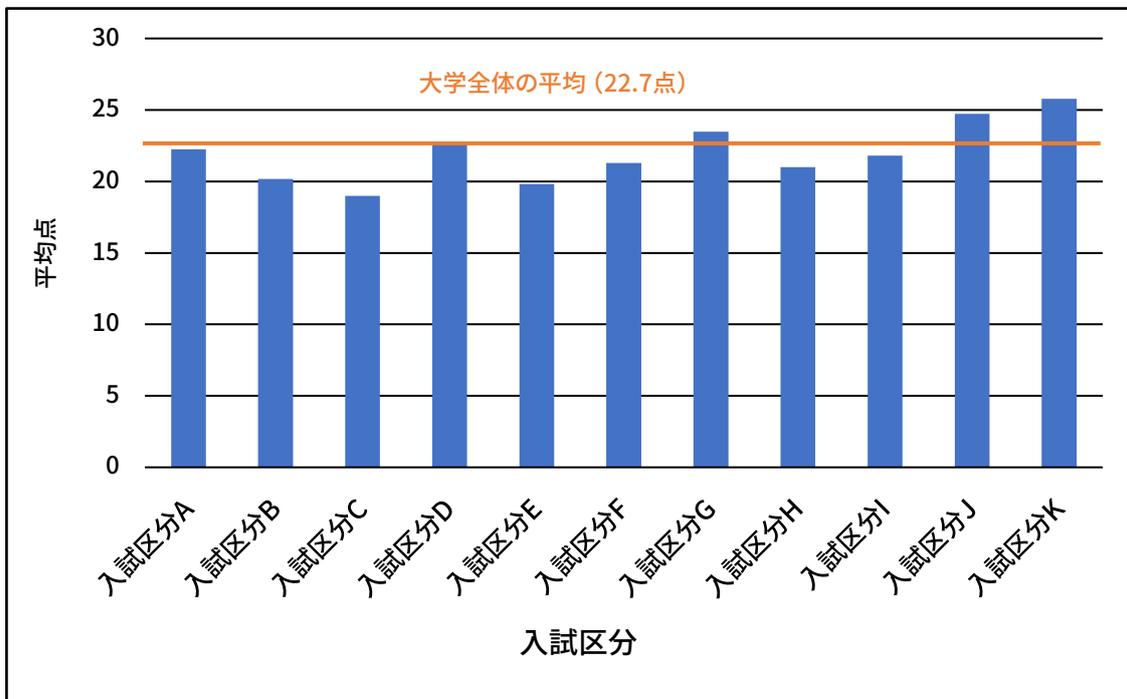


図 2 数学の入試区分別平均点

表 5 各入試区分における数学の得点の上位～下位の成績階層の比率(%)

入試区分	人数	上位	中上位	中下位	下位	合計
入試区分 A	85	22.4	22.4	34.1	21.2	100.0
入試区分 B	190	8.9	16.3	33.7	41.1	100.0
入試区分 C	2	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0
入試区分 D	137	29.2	19.0	34.3	17.5	100.0
入試区分 E	26	11.5	11.5	23.1	53.8	100.0
入試区分 F	28	3.6	28.6	32.1	35.7	100.0
入試区分 G	33	33.3	33.3	18.2	15.2	100.0
入試区分 H	3	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
入試区分 I	45	20.0	13.3	33.3	33.3	100.0
入試区分 J	222	50.9	19.8	19.8	9.5	100.0
入試区分 K	81	56.8	25.9	13.6	3.7	100.0

上位：30-26点，中上位：25-24点，中下位：23-20点，下位：19-0点

※色つきのセルは，その入試区分で最も比率の高い階層である。

(人数の少ない入試区分 C，入試区分 H を除く)

## ○総合得点の分析

### 素点に基づく分析

総合得点は英語と数学の合計で、65 点満点である。入試区分ごとの結果をまとめたものを、表 6 および図 3 に示した。大学の平均点は 41.8 点 ( $SD=9.67$ ) で、昨年度比 $-0.6$  点であった。入試区分別に見ると最も平均点が高いのは入試区分 K の 52.0 点 ( $SD = 6.30$ ) で、昨年度比 $+0.7$  点であった。次いで入試区分 J (47.5 点,  $SD=7.03$ , 昨年度比 $-1.5$  点), 入試区分 G (43.7 点,  $SD=6.74$ , 同 $-1.6$  点) と続く。昨年度もこの 3 区分は上位に位置したが、入試区分 G と入試区分 J では昨年度よりも平均点が 1 点以上下がっている。最も平均点が低かったのは入試区分 E の 34.0 点 ( $SD=6.87$ ) で、昨年度比 $+3.7$  点であったが、標準偏差が 0.57 拡大している。平均点、最高点・最低点、いずれを見ても、入試区分 J と入試区分 K の成績が高く、入試区分 B, 入試区分 E, 入試区分 F で成績が低くなっている。各入試区分の平均点を偏差値に直すと、3 つの区分で 50 を超える (平均点を超える) が、入試区分 B と入試区分 E の区分で 45 を下回っている。

図 4 は、平均点を満点に対する得点率に換算した数値をグラフ化したものである。得点率は、どの入試区分でも英語が低く、数学が高いため、総合得点はその間に入る形になっている。英語の得点率は受験者の少ない入試区分 C と入試区分 H を含め、5 つの区分で 50%未満である。一方で、数学の得点率が 50%に達しない入試区分はない。

### 成績階層の分析

受験者の成績から 25 パーセントイル点、50 パーセントイル点、75 パーセントイル点を算出し、この数値を基に各入試区分の入学者を成績の階層ごとに分類した (表 7)。成績階層は、上位が 65-49 点、中上位が 48-43 点、中下位が 42-35 点、下位が 34-0 点である。同点が多数いるため、階層ごとの得点の幅および人数が均等になっていないことに注意されたい。分類した結果を、表 7 に示した。この表は、各入試区分内での上位から下位までの分布を示しているため、横方向の合計が 100%である。

入試区分 J, 入試区分 K の区分では、上位から中上位に 75%以上が入る。入試区分 G で上位から中上位に過半数 (63.6%) が入る。その他の区分では、上位から中上位までが過半数を超える区分はない。入試区分 A, 入試区分 B, 入試区分 E においては、下位に 50%以上が該当する。入試区分 D や入試区分 I は、中下位から下位がボリュームゾーンとなっている。

### 評価

以上の傾向から、総合得点においては数学よりも英語の学力が反映されており、今年度の入学者については、入試区分ごとの学力の差は英語において顕著であると言える。

表6 総合得点の入試区分別成績一覧

入試区分	人数	平均	昨年度比	SD	最高	最低	偏差値
入試区分 A	85	39.8	+4.3	8.81	56	18	47.87
入試区分 B	190	34.6	-1.9	8.68	56	11	42.50
入試区分 C	2	35.5	-8.5	9.50	45	26	43.47
入試区分 D	137	41.1	+1.6	8.13	60	21	49.24
入試区分 E	26	33.9	+3.7	6.87	51	24	41.84
入試区分 F	28	39.0	-2.1	7.23	53	22	47.13
入試区分 G	33	43.7	-1.6	6.74	57	24	51.92
入試区分 H	3	37.0	-9.6	3.56	40	32	45.02
入試区分 I	45	37.7	-0.9	7.05	51	23	45.74
入試区分 J	222	47.5	-1.5	7.03	61	25	55.87
入試区分 K	81	52.0	+0.7	6.30	63	37	60.56
全体	852	41.8	-0.6	9.67	63	11	

※「昨年度比」の欄の赤字は、昨年度比で0.5点以上下がった区分。  
「最高」「最低」の色つきのセルは、それぞれの得点を記録した区分。

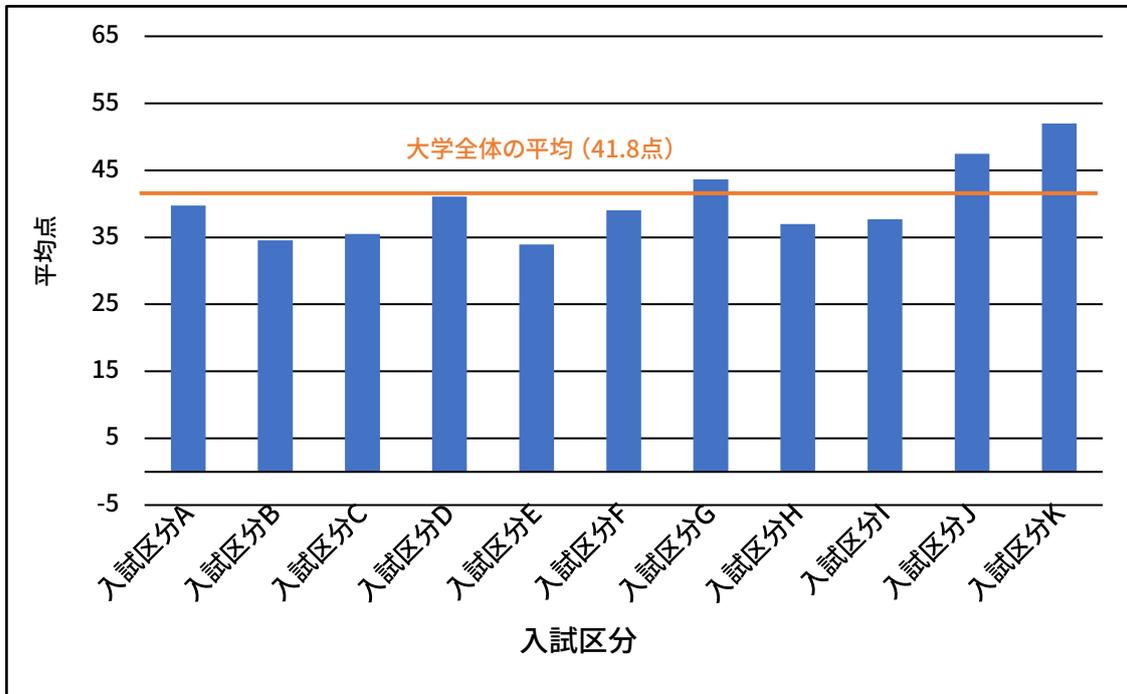


図3 総合得点の入試区分別平均点

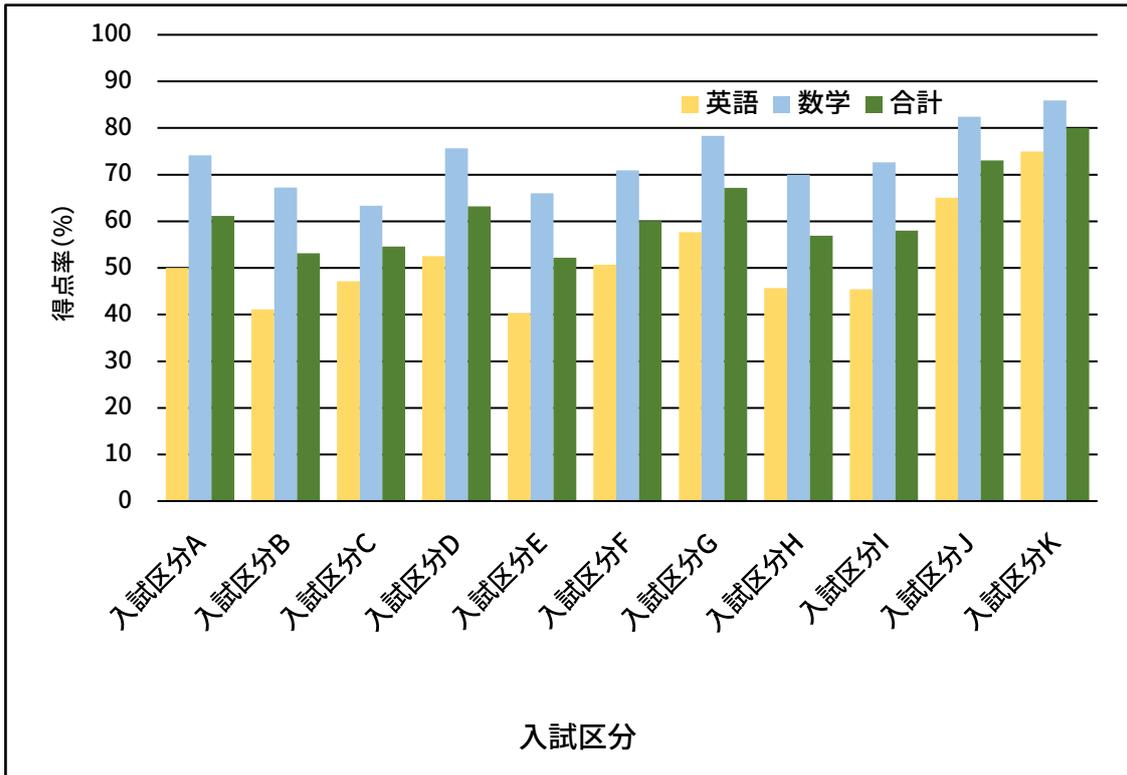


図4 英語・数学・総合得点の得点率

表7 各入試区分における総合得点の上位～下位の成績階層の比率(%)

入試区分	人数	上位	中上位	中下位	下位	合計
入試区分 A	85	14.1	28.2	31.8	25.9	100.0
入試区分 B	190	6.3	13.7	30.0	50.0	100.0
入試区分 C	2	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0
入試区分 D	137	17.5	28.5	34.3	19.7	100.0
入試区分 E	26	3.8	7.7	30.8	57.7	100.0
入試区分 F	28	14.3	10.7	46.4	28.6	100.0
入試区分 G	33	21.2	42.4	27.3	9.1	100.0
入試区分 H	3	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0
入試区分 I	45	6.7	24.4	28.9	40.0	100.0
入試区分 J	222	49.1	27.0	18.5	5.4	100.0
入試区分 K	81	70.4	21.0	8.6	0.0	100.0

上位：65-49点，中上位：48-43点，中下位：42-35点，下位：34-0点

※色つきのセルは，その入試区分で最も比率の高い階層である。

(人数の少ない入試区分C，入試区分Hを除く)